

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2010-492
研究課題名 重症外傷患者に対する高 FFP:PRBC 輸血療法の効果の検討
研究期間 西暦 2011年 2月 (倫理委員会承認後) ~2012年 2月
対象材料：診療録のみを用いる研究である。 <input type="checkbox"/> 病理材料 (対象臓器名 ) <input type="checkbox"/> 生検材料 (対象臓器名 ) <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記材料の採取期間 西暦 2006年 10月 ~ 2009年 9月
意義、目的： 出血性ショックに陥った重症外傷患者に対して、濃厚赤血球(PRBC)に対して新鮮凍結血漿(FFP)を多く投与すること (高 FFP:PRBC 輸血療法)により予後が改善するという報告が近年多数ある。これらの報告の大部分は米国からである。日本の外傷診療システムは、外傷センターを有する米国のそれとは異なるが、日本からの報告はない。また、高 FFP:PRBC 輸血療法の効果に疑問を投じる論文も複数ある。そこで、本邦における現状を調べるために当センターにおける高 FFP:PRBC 輸血療法の効果を検討する。
方法： 後方視的研究；2006年 10月から 2009年 9月までの3年間に当院高度救命救急センターに搬送され、来院 24時間以内に濃厚赤血球を 10単位以上輸血された重症外傷患者を対象とする。診療録を用いて、各症例の FFP、PRBC、血小板投与量および投与比、生存率、集中治療室滞在期間、入院中の合併症などを調査し、投与した FFP:PRBC 比による群間で比較検討する。
問い合わせ・苦情等の窓口 研究機関名：東北大学病院高度救命救急センター 住所：仙台市青葉区星陵町 1-1 電話：022-717-7489 担当者：山内 聡 information@emergency-medicine.med.tohoku.ac.jp